

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	荘内エネルギー株式会社
実習期間	平成 30 年 3 月 5 日 ～ 平成 30 年 3 月 9 日
学生氏名	田村慎之介
実習プログラム	今回は 5 日間の実習期間のうち初めの 4 日間でサービスステーションの接客や洗車、残りの 1 日で営業の体験をさせていただいた。初日の午前は接客の基本事項を学ぶためのビデオを観た後にマニュアルの暗記と発声練習を兼ねたマニュアルの読み上げを行ない、午後からは早くも数人のお客さんを相手に接客をさせてもらった。2 日目、3 日目は丸 1 日お客さんの接客を行なった。4 日も接客は少ししたがこの日は主に洗車とコーティングの作業をさせていただいた。最終日の 5 日目は 1 日営業に同行し、得意先への挨拶回り等を行なった。営業は車での移動時間も長かったので担当して下さった社員の方と車内で会話をし、その中でためになる話をたくさんしていただいた。
学び・気づき (300 字程度)	サービスステーションでの実習では 1 日目の発声練習や接客の流れを覚えるまでの時間はとても大変だったが、2 日目、3 日目とお客さんと接する時間が増していくとスムーズで自然な接客が出来るようになりお礼の言葉や笑顔をもらう回数が増えていきとても楽しかったし接客業への魅力も感じる事が出来た。最終日の営業では同行させてもらい営業職の仕事内容の流れを実際に体験させてもらえる。また、営業車での移動時間が長くその間に社員の方と話を出来る時間がたくさんあり社会人に必要なことや、仕事をする上で大事なことなど色々な話をきくことができ大変勉強になった。
今後に向けた 抱負 (200 字程度)	私はこれまで職種についてはやりたいことが特に無く、深く考えた事も無かったが今回のインターンシップで接客業と営業を経験させていただいた事でお客さんと直接会って関わる仕事にとっても魅力を感じ、進路を決める上でのヒントにもなる実習だった。 今までは地元就職だけにこだわって会社説明会などに参加していたが、今後就職活動をしていく上で、お客さんと直接関わる事の出来る接客業や営業職にも視野を広げて考えたいと思った。
インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300 字)	地元での就職を考えている私にとって地域から愛され必要とされて半世紀以上経営を続ける荘内エネルギーさんでの実習はとてもためになることが多くて充実した 5 日間だった。 荘内エネルギーさんはお客さん一人ひとりとの繋がりをとても大切にしている、地域企業が持つお客さんとの繋がりが信頼になり、それがこの会社が地元から愛され続ける理由なのだと思う。 インターンシップ中は、担当の方が他の仕事で私達につくことができない時でも、必ず仕事の面倒を見てくれる人が交代について下さり、実習をしていて分からないことがあっても親切に対応して頂いた。

写真 (1~3点)

